

●新連載／二人の正幸が綴る

kobe 八イカラ文化史

はじめに

21世紀の文化発信を

鈴木 正幸

（神戸大学教育学部教授）

鈴木 正幸

（神戸大学文学部助教授）

同姓同名は広い世間にはままあることである。

しかし手紙などを互いにやりとりするとおかしな気持ちになるものだ。差出し人、受けとり人が全く同じ、字の大きさが少し違うだけである。しかも同じ職場に二人となると些か話はややこしくなる。外部からの手紙、連絡などの間違いはしょっちゅうのことである。今は教育学部と文学部に分れているが、少し前まではジュニア鈴木は教養部に在籍していた。教育学部と教養部を識別できるのは大学関係者くらいのもことから、世間一般の人が違えても当り前であろう。講演や原稿依頼の間違ひなどは、どこの段階で発見され、修正されるのかなかスリルもあって面白い。贈呈本など間違つて収まっているものもある。また給料のナントカ手当というのが一年余り間違つて支払われ、まとめて一方から他方に返させられたこともある。

もちろん不都合なことばかりではない。「最近良く仕事されてますね」などといわれ、仕事の巾の広さに感心されたりもする。二人分なのだから巾の広いのも当り前だ。街の知人から、「東京のお兄さんにお会いしましたよ、大変お世話になりました」などといわれ、思わぬお返しをされたりする。二人とも兄が東京にいるからますます話

はややこしい。都合のいい話はあまり訂正しないことにしている。

ところで私共は互いに神戸に移り住んで十年以上となる。神戸の住人ではあるが、十年や十五年の生活歴ではいぜんとして「よそ者」であろう。いわば関東文化圏からきた「よそ者」のまなざしを大切にしながら、神戸のマチ、文化についていろいろと考えてみたいというのである。たまたま専攻するところも、一人は日本史、一人は教育史、人間の生きざまに直接かかわることがらに関心を共有している。また、ともにすこぶるノンベエ、食いしんぼうそれにモノ好きときている。「自由にしてよろしい」との編集者のゆるしを得て、肩に力を入れず、遊び心を大切にして、神戸のヒト、モノ、コトにつき、しばらくこの誌面をかりてみたい。神戸は住みよいとか文化の香りがするとかいわれるがはたして本当だろうか。文化不毛の街になりつつあるのではないかという寂寥感におそわれることがまある。

折りしも神戸は開港百二十年を迎えている。西欧文化の受け入れ口として、日本の近代化において神戸は測り知れない役割を果たしてきた。異文化接触の観点からも、神戸という街の歴史は極めて興



上 / 神戸からの文化発信の一翼を担う映画記念碑。能勢の石切場での作業も順調に進み、完成も間近。

右 / 鈴木教授(左)と鈴木助教授の2人の“正幸”。(ポートアイランド北公園にて)



味深い。二十一世紀にのぞみ、受け入れの港から文化発信の港へと甦ることができるとかが神戸の未来を決めることになる。今、神戸では、映画記念碑とか、平和モニュメント、平和公園などいろいろなイベントや運動がおこされようとしている。また県の方も、新知事体制のもとに、文化おこしの運動を強力にすすめるという。国民文化祭の兵庫県での開催も決った。文化・芸術を核とした新しい地方の時代をつくり出してほしいものである。

先達の業績をふまえながら、なお埋もれている貴重な資料や実践などを掘りおこし、あとづけることなどもしてみたい。例えば元町で行われてい

た人間幼児育所の実践と寺子屋とのかかわりの検証など教育史的に意味があるのみならず、江戸と明治の連続性の問題としても興味深い。しばらくはホロ酔い加減で、旨いものでも食べ歩きなどしながら神戸の街を逍遙いたすつもりである。

鈴木正幸(教授)

篠原伯母野山町在住。

一九三五年生れ。名古屋大学大

学院博士課程後、同大学助手、

名城大学を経て、一九七二年より

神戸大学教育学部・教育史、

比較教育学専攻。神戸市マスタ

ープラン審議会委員、企業内教

育調査委員長(兵庫県昭和六十

年度)、社会教育関係団体調査

委員長(同六十一年度)。灘区

鈴木正幸(助教授)

一九四三年生れ。東京教育大学

大学院博士課程。学術振興会奨

励研究員を経て、一九七六年神

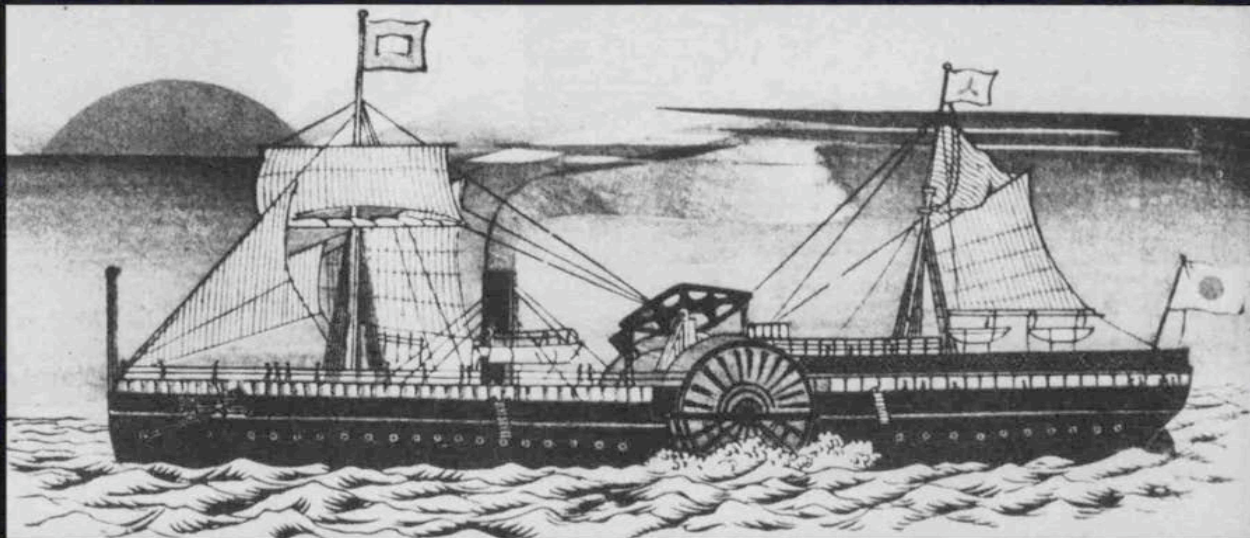
戸大学教養部、一九八〇年より

同大学文学部。日本近代史専攻。

神戸史編さん専門委員。東灘区

住吉山手在住。

神戸開港120年記念■連載〈その3〉



政府主導から民間主導へ

邦船海外航路一番船「東京丸」

文：海市悠太郎

海船港

「東京丸」という船があった。原名を「ニユーヨーク」といい、一八六四年に米国のジェレミア・サイモンソン造船所で建造された木造の外輪蒸汽船で、船長二九一メートル、幅三七メートル、深さ一八メートル、一、八〇〇馬力のエンジンを搭載し、一三・五ノットの速力を出すことが出来た。同船は、前回の「神戸港定期船事始め」で紹介した「コスタ・リカ」同様、米國パシフィック・メイ・ラインの横浜／上海間の支線サービスに投入され、しばしば開港後の神戸に寄港した船である。そして、この船こそが邦船によって開設された初の海外航路の就航一番船として記録されている船である。

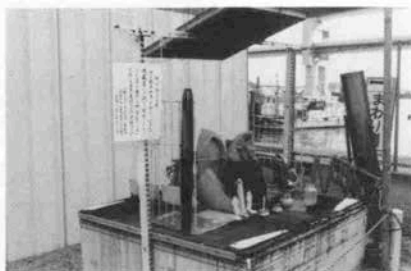
これまでも紹介した通り、季節まかせ、天候まかせの大和型帆船による航海から、一足飛びに蒸汽船への変革を迫られたものの、我が国海運は量・質共にようやく沿岸輸送を賄える程度の幼児期の段階であり、日本が諸外国に開国されるや、その開港場には英國・仏蘭西・米國といった先進國の海運が相次いで定期寄港し始めた事は前回記した通りである。

この内でも、特に米國のバシフィック・メイ・ラインはサンフランシスコ／横浜／香港間の基幹航路と併せ、横浜／神戸／長崎／上海の支線航路も神戸開港年に早々と開き、細々とした邦船の活動はもとより、先行していた英國海運をも除々に放逐していつていた。そして、我が国政府が海運振興の必要を認め、洋式船舶の所有を奨励すると共に商船規則を發布し、旧幕府の運輸船「長鯨丸」（九九六総トン、元・英デンバー）等の船で大阪（神戸）／東京（横浜間）に毎月三回の定期航路を開いたのは、明治三年になってからであった。この時、政府から運輸を委託されたのが半官半民の「廻漕会社」で、同社は一年足らずで解散

し、翌年には政府保護のもとに三井家手代の吹島四郎兵衛に「廻漕取扱所」を創立し、前の会社の持船等一切を継承させた。

更に同年七月に実施された廢藩置県に伴ない、各藩の船舶が新政府の所有に移ったため、これらの船の効率的な運営を目的として「日本國郵便蒸汽船会社」が設立されている。しかし、この会社も「三菱会社」（現・日本郵船）の台頭のもと、激しい競争にあえなく敗退し、明治八年九月には解散するに至っている。この「三菱会社」の始まりは明治三年十月、土佐藩の小参事であった岩崎弥太郎翁がそれまでの藩営の「土佐商会」を改称し、「九十九商会」を設立して藩船「夕顔」（六五九総トン、元・英シェーリオン）等の三隻で、大阪／東京、神戸／高知間に航路を開いたのが嚆矢で、現在の三菱財閥の基礎はここに始まる。同社が大きく発展し、しかも政商として大きな力をつけていったのは、明治七年に勃発した「台湾征討事件」で、この事件には軍事輸送のため多くの船舶を必要としたが、沿岸航路での防戦に必死であった蒸汽船会社にはその余力は無く、あてにした諸外国の船舶もその局外中立宣言から断られ、やむなく政府は政府雇入れの英人船長ヴラウンを香港に派遣して汽船十三隻を購入し、三菱にその運輸を委託したのである。この汽船十三隻の購入代金は一五六万ドルといった膨大な額であったが、その内の一隻が冒頭にあげた「東京丸」であり、その他にも二番船、三番船となった「高砂丸」（二、〇三二総トン、元・英デルタ）「新潟丸」（二、一八五総トン、元・英ベハール）「金川丸」（一、一八五総トン、元・英マドラス）も含まれていた。そしてこの事件に際して交わされた「海運担当約定」に基づき、この事件終了と共にこれらの船の運輸を委せられた「三菱会社」は、明治八年二月三日、横浜

●「神戸港を考える会」から



神戸港のメリケン波止場の入口に、ひっそりと祭られている2体のお地藏さんがいます。4年前に亡くなった神戸港の名物男・故・小野米吉さんが、知人から寄進をうけ、長らく中突堤で供養していたものです。小野さんが亡くなられてから、世話をする人もおらず、雨風にうたれて、野ざらしになっていました。

今回、「神戸港を考える会」では、5月21日の小野さんの命日を目標に、新たなほこらを建てたいとし、広くその基金の寄付をお願いしております。

(連絡先) 神戸市中央区東町113の1
大神ビル9F「月刊神っ子」内。
TEL 078-331-2246



ポートウオッチングマップ販売

問い合わせ／神戸っ子内「神戸港を考える会」

(定価 200円) TEL 078-331-2246

Port of KOBE

●ポートターミナル日より 「ロイヤル・プリンセス号」など3船 神戸に初顔見せ



船名	入港日
ツルクメニア号	3/16~19
マキシムゴルキー号	3/18~19
ロッテルダム号	3/26~27
ツルクメニア号	4/5~8
ユニバース号	4/20~24
ロイヤル・プリンセス号	4/23~24
シーゴウデスⅠ号	5/7
パール・オブ・スカンジナビア号	5/8
ロイヤル・バイキング・スター号	5/20~21
ロイヤル・プリンセス号	5/21~22
ミハイル・ショーロホフ号	5/25~26
ツルクメニア号	6/4~7
シーゴウデスⅠ号	6/6
パール・オブ・スカンジナビア号	6/7
ロイヤル・バイキング・スター号	6/17~18
ツルクメニア号	6/23~26
ツルクメニア号	7/11~14
ロイヤル・バイキング・スター号	7/13~14
パール・オブ・スカンジナビア号	8/30
ロイヤル・バイキング・スター号	8/30~31

起して「東京丸」を日本（横浜・神戸・長崎）／上海航路に投入、ここに我が国海運として初の海外定期航路が誕生したわけである。この「東京丸」には、副社長の岩崎弥之助自らが乗船していた事も同社の息込みが感じられるが、この時の積荷は茶と陶器が大部分で、これらの貨物は上海港を仲継港として欧米に輸出されるものであった。この

航路開設は当然、先行していた米国のパ社との間で熾烈な争いを引き起こすわけだが、「三菱会社」がいかにしてこれを打ち負かしたかは稿を改めた。最後に申し添えておきたいのは、この「東京丸」は後に、東京築地にあった海軍兵学校（後の海軍兵学校）が江田島に移転した折に、新校舎が完成するまで仮校舎として使用されていた船である。

Juchheim's

Die große und kleine Feinschmecker
Kake-Druck/Verl. am Main
Seit 1881

2月14日の愛のドラマは、 あなたがヒロイン。

いつか映画で見た情熱的な恋、小説で読んだ献身的な愛、
どこかで聞いたシャレた愛のメロディー、とんでん返しのドラマ……。
愛はいつもドラマチックが素敵です。さて、あなたの
バレンタインはどんな場面、どんなストーリーかしら。
いろいろな場面に自分をあてはめて、思いっきりヒロイン
しちゃいましょう。今年もユーハイムがお手伝いします。



1987

St. Valentine

ユ-ハイム



バレンチノデーの起源

「愛の守護神・聖バレンチノ生誕の地、イタリアのテルニにバレンチンデーの起源があります。」
「本来のバレンチンデーの意味合い」を求め続けてきた私たちは、1984年の秋、イタリアのテルニに、たどりつきました。

愛の守護神・聖バレンチノの生誕の地です。

この街には、彼を祭る聖バレンチノ教会があり、遠くの昔より、

2月14日「聖バレンチノの日」に恋人たちや老若男女が小さな贈り物をして、愛の祈りをするという習慣が、受け継がれていました。

愛の神話

「聖バレンチノは、なぜ「愛の守護神」と呼ばれるようになったのでしょうか。」

それは、宗教の異なるカプルが天上で結ばれた愛の伝説、

「サビノとセラピアの物語」があげられます。

セラピアが不治の病にたおれ、ついに回復の望みが断たれた時、サビノは聖バレンチノに祈ってもらい、その願いはきき届けられ、2月14日、二人は手を取り合って天国へ旅立ったといえます。

それから、聖バレンチノは「愛の守護神」と呼ばれるようになりました。

2月14日の当日は、荘厳なミサが行われ、聖バレンチノ像にお祈りする人々が多く見られます。

中世・愛の小径

「テルニを起点に、聖バレンチノゆかりの「中世・愛の小径」には、かすかすの愛のエピソードが……」

テルニのあるウンブリア州は、緑の豊富な丘陵地帯で、

古代ローマから中世にかけての面影を色濃く残した、

歴史の街が点在し、「中世・愛の小径」と呼ばれています。

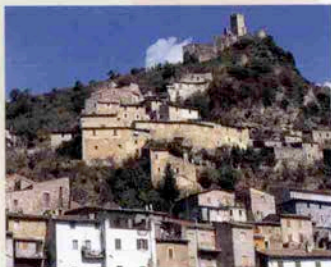
マルモレの滝には、愛する女性の胸もとに飛び込んだ若者が滝になったという伝説があります。

若者を恋する妖精の涙が湖になったといわれる、北西部のトラジメーノ湖など、

この地方には愛にちなんだロマンチックなエピソードが数多くありました。

2月14日は、日頃の愛へ感謝をする日であり

また、新しい愛がはじまる日です。



丘の上の石造りの家々



2月14日の儀式



聖バレンチノ教会

神戸百店会

*宝飾品 Jewel・Pearls

- ①宝飾 **ミキモト** Mikimoto Pearls
②宝飾 **田崎真珠** Tasaki Pearls
③宝飾 **タジマ** Jewel Tajima
④時計と宝石 **美田時計** Mita Watch Shop
⑤宝飾 **神戸ダイヤモンド** Kobe Diamond

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

- ⑦紳士服 **柴田音吉洋服店** Tailor Shibata
⑧紳士服 **三恵洋服店** Tailor Mituei
⑩男子洋品 **フナキヤ** Funakiya
⑪紳士服 **十字屋洋服店** Tailor Jujiya
⑫洋品雑貨 **サノヘ** Sanohe
⑬ワイシャツ **神戸シヤツ** Kobe Shirt
⑭紳士服 **洋服の幹渡** Watanabe
⑮紳士服 **ウ** Men's Shop Une
⑯紳士シャツ **大和屋シヤツ** Yamatoya Shirt
⑰レディースファッション **マーキュリー** MERCURY
⑱紳士服飾 **西川** Nishikawa
⑲紳士服 **アダム** Adam
⑳メンズファッション **M A C**

*婦人洋装・洋品Ladie's Shop・装身具・服飾品

- ⑲帽子 **マキシ** Maxim
⑳服飾雑貨 **エスターニュートン** Esther Newton
㉑ハンドバッグ **シラサ** Shirasa
㉒ベビー用品 **ファミリア** Familiar
㉓婦人服地 **シンワ**
㉔婦人靴 **ジョアンナ**

- ㉕洋装 **オカダ** Okada
㉖洋装 **マサユベ** Masuya
㉗婦人服飾 **ベニヤ** Beniya
㉘婦人・紳士服 **セリザワ** Serizawa
㉙毛皮 **ベニーマフ** Bennie Furrier (Furs)
㉚高級婦人服地 **コムツ** KOMATUYA
㉛婦人服飾 **三** San-ai
㉜オートクチュール **装** Soen
㉝婦人服飾 **リザ** Liza
㉞キチュール&ブティック **ウインザ**
㉟ベッ甲 **太田ベッ** Ota Co.(Tortoise-shell ware)
㊱ハンドバッグ **イクシマ** Ikushimaya
㊲アグセサリー **芸** Geimu
㊳婦人・紳士靴 **クロスシューズ** Cross Shoes
㊴婦人・紳士靴 **ヨシオカ** Yoshioka Shoes
㊵婦人服飾 **サンジエ** Sanje

*和装Kimono, Geta

- ㊶呉服 **ちんがら** Chingaraya
㊷呉服 **みよし** Miyosiya
㊸衣裳 **中川衣裳店** Nakagawa
㊹衣裳 **つるや衣裳店** Turuya

*美容Beauty Shop

- ㊺美容 **ブルーズ** Blues
㊻美容 **美容室エリザベス** Elizabeth Beauty Shop

*美術・工芸品Art

- ㊼美術 **元町画廊・若木屋** Motomachi Gallery
㊽画材・額縁 **末積** Suezumi
㊾工芸 **磯川工芸店** Isokawa
㊿美術陶磁器 **淡洲堂** Tanishudo
㊿新古美術 **播** Harishin

- ㊿美術品 **元町美術会** Yonemachi Art Society
㊿記念品・贈答品 **平山商会** Hirayama Kaisha
㊿家具 **永田良介商店** Nagata Ryosuke Shop
㊿玩具 **カメヤ** Kameya Toy Store
㊿メガネ **神戸眼鏡院** The Kode Optical Co., Ltd.
㊿カバン **大上靴店** Oue Trunk Co.
㊿ゴルフ用品 **タカハシ** GOLF & BAG TAKAHASHI
㊿バッグ・靴 **服部メガネ** Hattori Optical Shop
㊿メガネ **遠藤福寿堂** Endo-Fukujudo
㊿和洋家具・カーテン・カーペット **インテリアイリフネ** Interior Irifune
㊿家具・インテリア **メープル FUJIYA**
㊿外国書籍・文具 **丸善神戸元町店**

*菓子・喫茶 Cake・Tea-room

- ㊿和洋菓子 **神戸風月堂** Kobe Fugetsudo
㊿菓子 **雁治郎飴本舗** Ganjiroame-Honpo
㊿洋菓子 **ドンク** Donq
㊿チョコレート **モロゾフ** Morozoff
㊿ドイツ菓子 **ユーハイム** Juchheim's
㊿洋菓子 **ヒロタ** Hirota Confectionery
㊿洋菓子 **ユーハイムコンフェクト** Yuchheim's
㊿和菓子 **二つ茶屋** Futatsuchaya
㊿菓子 **本高砂屋** Hon-Takasagoya
㊿菓子・パン **ベッ** Belle
㊿菓子 **河南** Kanando
㊿チョコレート **コスモポリタン** Cosmopolitan
㊿瓦煎餅 **菊水総本店** Kikusui Sohonten
㊿喫茶 **UCC上島コーヒショップ**
㊿チョコレート **ゴンチャロフ** Goncharoff
㊿パン・喫茶 **カスカード** Cascade

*和洋料理 Eating House

- ㊿和洋料理 **竹葉亭** Chikuyotei
㊿天婦羅 **お可川** Okagawa
㊿寿司 **本成駒家** Hon-Narikomaya
㊿とんかつ **武蔵** Musasi
㊿ビヤ・ホール **ニュー・トーキョー** New Tokyo
㊿海鮮料理 **時雨茶屋** Shigure Jaya
㊿軽料理 **蛸の壺** Takonotsubo
㊿レストラン **北野クラブ** The Kitano Club
㊿レストラン **ブランドウ** Blanc de Blanc
㊿ふぐ・天ぷら・寿司 **栄** Sakaeya
㊿寿司 **又** Matahei
㊿神戸肉 **大井肉店** Ooi Beef Shop

*クラブ・料亭 Night Club

- ㊿料亭 **松の家** Matsu no ya
㊿ナイトクラブ **北野クラブ** The Kitano Club

*ホテル Hotel

- ㊿ホテル **神戸オリエンタルホテル** Oriental Hotel
㊿ホテル **六甲オリエンタルホテル** Rokko Oriental Hotel
㊿観光旅館 **有馬温泉(東有馬)古泉閣** Kosenkaku
㊿ホテル **ニューポートホテル** NEW PORT HOTEL
㊿観光旅館 **ホテル全但**
㊿ホテル **神戸ポートピアホテル** KOBE PORTOPIA HOTEL

*商社 Trading House

- ㊿ビール **アサヒビール** Asahi Beer
㊿電化製品 **ナショナルショールーム** National Showroom
㊿銀行 **太陽神戸銀行** THE TAIYO KOBE BANK, LTD.
㊿珈琲・紅茶 **UCC上島珈琲本社**
㊿直輸入 **株式会社神明** Shinnichi Co., Ltd.

KOBE 百店会 MAP



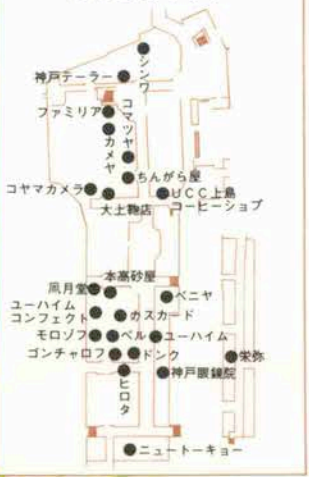
★KOBÉ HIGH CLASS SHOP GROUP
神戸のユニークな専門店でお買いものを！

- センタープラザ
B1 ファミリーベル
グラントカンパニー
1F ベル
1F ベニヤ
1F 大和屋シャツ
1F 芸夢
2F 純和
2F ショアンナ
3F リサ
- さんプラザ
B1 とんかつ武蔵
B1 亀井堂
B1 ゴンチャロフ
B1 カスカード
1F ジョアンナ
1F モロゾフ
2F セリサワ
2F マスヤ
3F 三愛
3F 芸夢
3F コマツヤ
3F 田崎真珠
●三宮ターミナルホテル
11F ヘル
11F コンチャロフ
- 神戸ポートピアホテル
B1 つるや衣業店
1F ファミリア
2F クロス
2F 田崎真珠
- 六甲オリエンタルホテル
●インテリイリフネ ●有馬温泉 古楽園

※地図の都合上記入できないメンバー



さんちかマップ



DRAMATIC

かわいらしさよりも洗練された都会的な
大人の女性をイメージした商品群です。
「おしゃれにこだわる」女性達へ贈ります。



DREAMY

キュートでポップな商品を揃えました。
今の時代のビュアなティーン達にときめく
楽しいバレンタインを贈ります。

「木」の字を大切にしています。
本高砂屋



女性の乳房は、みんな外側を向いています。そこで、シャルレはサイドサポートが理想であると考えました。



ちょっと試してみてください。人間の体は、前後から圧迫されると苦しく、左右からの締めつけにはラクに感じるようにできています。しかも、女性の乳房が外側を向いているという事実。そこで、シャルレは伸びバランスのよい生地で、サイドからぐっと絞り込み横からの力でバスト全体を支えるブラジャーを新しく開発しました。これまでのブラジャーのような圧迫感はありません。さらに、カップのサイドも絞って外向きのバストをバランスよく形づくるように工夫。美しいバストラインを、肉体の力学を上手に利用して無理なくつくりあげます。綺麗な曲線で美しく洋服を着こなすためのシャルレです。株式会社シャルレ 〒650 神戸市中央区港島中町7-7-1 TEL.078-302-7171(代)



シャルレの基本は、試着していただくことです。試着のご希望、下着に関するご相談は、お気軽にお電話で。

●お客様相談室専用電話 神戸078-302-7181 東京03-457-0938(ご利用時間10:00~12:30、13:30~16:00)

●写真は、ナチュラルシェイプシリーズ/ブラジャー-FA101

ハーモニー

色と色。色とカタチ。宝石と宝石……。

その一つ一つの個性を自由に輝かせながら、新しい美しさへと全体を調和させていく。

ジュエリーの創造が、確かな素材からはじまることを、ミキモトのすべての作品が伝えています。

ジュエリーの原点を見つめます。

MIKIMOTO

神戸＝神戸国際会館 TEL(078)221-0062 大阪＝梅田・新阪急ビル1階 TEL(06)341-0247 京都＝河原町・BALビル4階 TEL(075)241-2970 ©1987-2



スコットランドを愛する人のスコッチ



Grand
Old Parr
De Luxe Scotch Whisky

標準的な小売価格 ¥8,500

総代理店・オールドバー株式会社

神戸つ子

第310号

昭和62年2月1日発行

(毎月1回1日発行)

昭和40年1月20日第三種郵便物認可

ナニワ印刷(株)印刷

編集・発行/小泉康夫

頒価380円(送料70円)

発行・(有)月刊神戸つ子 神戸市中央区東町1-13の1 大神ビル9F 郵便番号〒650 電話(078)331-2246